

事例1

私は、小学生のとき、Aさんに「ゴキブリ第2号」と言われたことがありました。筆箱を何度も投げられたり、軽く殴られたりすることもありました。そのときは愛想笑いをして、やりすごしてしまいました。そして、一人になったときに泣きました。今思うと、かなりしんどかったです。いじめを見て、一緒に笑っていたBさんもいれば、Cさんのように二人のときになぐさめてくれた子もいました。

家族に相談すると、母は、「嫌なら、嫌とはっきりいいなさい」、父は、「お父さんにどう助けてほしい？」ときかれました。家族の言葉が私を一番、救ってくれたと思います。

そのいじめは、最終的に、友達のDさんと一緒に、Aさんに「やめて」と言っておさまりました。いじめをまわりで見ていた人に対して、そのときの私は懸命な判断だと思いました。その子が「やめて」と言うと、次はその子がターゲットになってしまい、私と同じようになってしまうと思ったからです。周りの子がいじめられるのを私は見たくありませんでした。

いじめのきっかけは、軽いふざけあいから始まって、それがひどくなって、いじめになっていきました。いじめは、誰にでも起こりえるもので、だんだんと深くなっていくいじめは、いじめられている感覚を失わせ、いじめている感覚も失わせると思います。

みんなで考えよう！

私たちは、いじめに立ち向かうために、「何ができるのか？」

① それぞれの立場で考えてみよう！

・登場人物は？

・それぞれ、どんな気持ちだったのか想像してみよう！

② 自分がクラスの一員だったら、どうしますか？

③ このようなことをなくすために、学校（またはクラス）でできる取組みを考えてみましょう！

事例2

私は、多くの友達が登録されている SNS で日記を書いています。ある日、私は軽い冗談のつもりで、友だちの A さんの悪口をその日記に書きました。A さんには見られない設定にしていたのですが、ほかの友だちの B さんがそれをコピーして書き込みをしたことで、A さんにもその内容が伝わってしまいました。

私が書き込んだ内容に怒った A さんは、自分の日記にきつい言葉で私への文句を書き込みました。それが SNS 上の友だちにあつという間に広がってしまい、仲良しだった友達の C さんからも無視されたりするようになり、LINE で「うざいなー、さようなら」という文面が届きました。

また、私だけメッセージを読めないように設定され、私の悪口の内容が、LINE 上でクラス全員で共有されていることがわかりました。その LINE を送ったのが A さんであることがわかったので、私は「やめてほしい。前に悪口を日記に書いたことは、悪かったと思っている。」と気持ちを伝えようと思いましたが、A さんは、激しい口調で怒鳴ってきて、喧嘩のようになってしまいました。

そして、クラスのだれからも喋ってもらえないようになり、別のクラスにいる、小学生のときから仲良かった幼なじみの D さんからも無視されるようになりました。もしかしたら、LINE でもっと広がっているのかもしれない。

もう誰も相談できる友達がなくなっていました。

学校に行ってもしんどいだけです。

みんなで考えよう！

私たちは、いじめに立ち向かうために、「何ができるのか？」

① それぞれの立場で考えてみよう！

・登場人物は？

・それぞれ、どんな気持ちだったのか想像してみよう！

② 自分がクラスの一員だったら、どうしますか？

③ このようなことをなくすために、学校（またはクラス）でできる取組みを考えてみましょう！